

ニューズレター 5月

2025. 5. 1発行



今月はリフォームするならココだけはケチるなについてお届けします。



リフォームでのむやみなコストダウンは失敗のもと。費用をケチると失敗するポイントを5つご紹介します。限りある予算だからこそ、有意義に使いましょう。



HPのお問合せはこちらから

1、リフォームでケチると貧相になる-フローリング

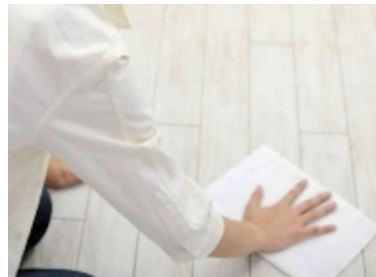


リフォームでケチると後悔するポイント1つめは、コストダウンで一気に貧相になるもの。その代表が**フローリング**です。

モデルルームや展示場で、「すごい！ステキ！」とよく声が上がるのは、たいい床のクオリティが高い部屋です。部屋の第一印象を決め、グレード感を支えているのは床です。床が安っぽいと、上に乗っている家具も安っぽく見えます。

コストダウンのためにフローリング材のグレードを落としてリフォームしたら、全体的に貧相に見えてガッカリ……と後悔するケースは本当に多いのです。

2、床材選びでは快適性とメンテナンス性が両立しないケースも



また床は見た目だけでなく、暮らしの快適度、日々のメンテナンス性にも直結しています。足触りが気持ちいい、掃除がしやすいなども、リフォーム後の暮らしが快適になるかどうか、とても大切な要素です。

しかし床選びでは、快適度とメンテナンス性が両立しないケースもあります。例えば無垢のパイン材の床に蜜蝋のワックスを掛けたものは、自然素材ですから、夏はさらさら素足に気持ちよく、冬はほんのり暖かくやわらかく、部屋の湿度を調整してくれる機能もあります。

しかしメンテナンス性や耐久性と言えば、シミになったり傷がつきやすかったり。機能優先なら、リアルな質感を再現しながら水や薬品にも強い店舗用のビニール床タイルを使う手もあります。ちなみに、ビニールだから安いというわけではなく、フローリング材を張るより高くつくことが多々あります。

床のリフォームは1回工事してしまうと、なかなかやり直すことはできません。床選びはケチらず、自分が大切にしたいことに徹底的にこだわることで、その後の暮らしの満足度が格段に上がります。

3、リフォームでケチるとストレスがたまる-キッチンカウンター

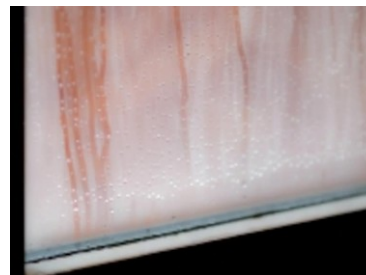


リフォームでケチると後悔するポイント2つめは、コストダウンで機能が一気に低下。毎日の暮らしの中でストレスが溜まってしまうもの。その代表がキッチンカウンターです。

キッチンカウンターの性能をコストダウンの対象にしてしまったせいで、せっかくリフォームしたのに傷がついてしまったらどうしよう、シミになったらどうしようと、リフォーム後にかえってストレスが溜まってしまった人もいます。

扉でコストダウンしてもカウンターでは絶対しない、傷やシミの心配なく思い切り料理をしても大丈夫なら、リフォーム後の暮らしも安心です。

4、リフォームでケチると快適性が格段に落ちる-断熱性能



リフォームでケチると後悔するポイント3つめは、コストダウンで快適度が一気に低下するもの。その代表が断熱性能です。

住まいの断熱性能は、快適な暮らしを支える基本です。見た目だけきれいになっても、夏暑く、冬寒く、光熱費が高くて結露がひどいようでは本末転倒。断熱性能を上げるリフォームは意外と手軽にできますので、予算に加えておきましょう。

5、リフォームでケチると危険がある-耐震性能

リフォームでケチると危険なのが耐震性能です。特に1981年以前の家は旧耐震基準で建てられているので、地震に弱い家であることを知っておきましょう。旧耐震基準の家を新しい耐震基準に合致させる耐震リフォームは、補助金制度が充実しています。

6、リフォームでケチると後でお金が掛かる-メンテナンス



リフォームでケチると後悔する最後のポイントは、まだまだ大丈夫と先延ばしをし続けていると、後で膨大な費用が掛かるもの。メンテナンスのリフォームです。

メンテナンスのタイミングを見極めて、適宜お手入れをしていくことが、長い目で見ればお得に家を維持するコツです。タイミングを過ぎると、後で多額の補修費用が掛かるケースが多いのです。

7、まんべんなくは後悔のもと！メリハリを効かせた予算配分が成功のコツ

限られた予算の中で、満足度の高いリフォームをするポイントは、メリハリを効かせた予算配分をすることです。

まずは優先順位を決め、こだわりの部分、性能を上げたい部分には、妥協せずにシッカリ費用を掛けましょう。優先順位が低いところは、すっぱり切り落としてスリム化する、DIYで頑張ってみるなど、メリハリのある予算立てをしてみてください。

ついあっちもこっちも色々なところをちょっとなんまりリフォームしたくなるものですが、まんべんなくは後悔のもと！できあがって見たら、一応全体的にキレイにはなったけれど、どこか安っぽくて機能も満足できない……ということになりかねません。

こだわりの部分にはきちんとお金を掛けて満足する、使える部分はそのまま残す、というのも、新築とは違うリフォームの大きなメリット。リフォーム後の満足度を上げるコツでもあります。

・土
・建
・リフォーム

木
築

株式会社 渡 辺 組

本社 海津市海津町高須町720-1
0584-53-0174

E-mail info@watanabegumi-kaizu.com
URL http://www.watanabegumi-kaizu.com

*毎月皆様の暮らしのお役立ち情報をお届けしています。何かお気付きの事や知りたい事などございましたらいつでもご遠慮なくお申し付け下さい。皆様のご意見ご感想を元にお役に立てれば幸いです。